



11月の園だより



11月紅葉の季節となり急に寒くなってきました。コロナ感染症とインフルエンザの流行が予想されています。インフルエンザ予防接種は、出来るだけ実施して頂きたくお願い申し上げます。

先月の運動会では、各クラスの園児の活躍と成長をご覧になりいかがでしたか？園庭での実施や2部構成という状況の中、保護者の皆様にはご協力ありがとうございました。

今月の誕生石はトパーズ(友情と愛)です。冬の足音がもうそこまできていますね。保育園では、インフルエンザや風邪に気をつけたい季節。ウィルスなどの感染力は、湿気が高いと弱まり、低いほど強くなるといわれます。各クラスの空気が乾燥しないよう十分な加湿をしていきます。またご家庭でも加湿の工夫をおねがいし感染症に負けないようにしていきましょう。

23日(水)は、ぞう組、きりん組によるマーチングフェスティバルが小山市にて開催されます。園の事業としては、懇談会等がありますが各クラスからのお知らせをご覧ください。15日は、七五三詣りを木幡神社で行います。三歳は髪置き・・・それまでそろっていた髪を伸ばし始める儀式。五歳は袴着・・・子どもが初めて袴をはく儀式。七歳は帯解き、帯直し・・・初めて帯を結ぶ儀式。子どもの大切な節目に行われますが、近頃では、昔のような形式的な儀式ではなくって、この日、三歳と七歳の女の子と五歳の男の子が晴れ着を着て神社でお参りをし、千歳あめを買ってもらう風習が全国的にみられます。家庭では、お赤飯を炊いて、ごちそうを作り内輪に祝います。ことさら着飾るよりも、子どもを中心に中身のある楽しいお祝いに心がけてはどうでしょうか。ちなみに、千歳あめの由来は、元禄年間に、江戸浅草のあめ屋さんが考え出して、神社や寺の門前で売ったものといわれ、長生きするようにと縁起をかついで、千歳飴と名づけられました。

保育園では前期の保育活動の反省点を踏まえて園児の個性などをよく理解して活動する事や後期の活動がさらに充実することを目標として後期活動に入りました。保護者の皆様からのご意見を踏まえながら職員が一丸となり保育活動を実施していきます。また保育園独自の運動能力調査研究や職員による劇の研究も成果を上げてきている所ですので、今後発表する場を設けていきたいと思えます。今月もよろしくお願い致します。

園児の活動に負けないよう体力づくりをします。

園長 守田 浩樹



☆集金は、できるだけおつりのないようご協力お願い致します。



☆12月17日(土)は、りす組・うさぎ組・ぱんだ組のお遊戯会です。詳細は後日お知らせ致します。尚、ひよこ組・きりん組・ぞう組は通常保育を行います。

<年末年始のお知らせ>

☆12月29日(木)～1月3日(火)は休園となります。ご協力お願い致します。

